

逗子市議会議員

さぎさか ゆうじ 活動レポート Vol.11

～無所属で活動中～



■さぎさか ゆうじ(勾坂祐二) プロフィール■

1970年2月14日生まれ A型 43歳 逗子市沼間1-8-2

沼間小学校卒業・逗子中学校卒業・私立横浜商工高等学校卒業(有)勾坂量店入社
07年逗子市商工会青年部部長・08,09年沼間小PTA会長、08年逗子市PTA連絡協議会会長・神奈川県PTA協議会常任理事・10年(社)逗子葉山青年会議所理事長
家族構成: 妻と長女(中学3年)次女(小学3年)長男(小学1年)2010年3月に行われた、市議会議員選挙にて初当選 議会報編集委員会委員長 総務常任副委員長
現在、基地対策特別委員長、総務常任委員、議会運営委員 所属会派 市政クラブ

平成25年 第3回定例会(決算議会)報告

第3回定例会が9月9日～10月3日に行われました。今回の定例会では、24年度収支決算報告

の議案が上程され、賛成多数で可決されました。その他の主な議案は、逗子文化プラザホール、逗子市都市公園有料公園施設、逗子市立体育館の3施設に指定管理者の指定について管理者が決定しました。議員提出議案では、逗子市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について・逗子市市民災害見舞金支給条例の一部を改正する条例について可決され、逗子市空き家等の適正管理に関する条例の制定については、修正案が可決されました。その他、請願1件、陳情13件、意見書3件、決議案2件が審議されました。

(1) 財政状況

健全な財政運営の原則である収支の均衡及び財政構造の弾力性についての比率の推移

財務比率の推移

	実質収支比率	経常収支比率	公債費比率	財政力指数
平成24年度	8.1%	97.1%	9.2%	0.852
平成23年度	7.5%	98.9%	9.6%	0.876
平成22年度	7.1%	98.3%	9.7%	0.902

実質収支比率：標準財政規模に対する割合。一般的には3～5%が望ましいとされている。

経常収支比率：経常一般財源に対する経常的経費の割合。

一般的には70～80%が望ましいとされている。

公債費比率：経常一般財源に占める公債費の一般財源所要額の比率。

一般的には10%以内が望ましいとされている。

財政力指数：財政上の能力を示す指数。この指数が1を超えるほど財源に余裕がある。

(2) 市債状況

平成24年度の市債借入額は36億6,320万円で、平成24年度末借入残高は224億4,537万2,598円となっています。一般会計の市債借入額は29億40万円で、平成24年度末借入残高は171億8,187万7,565円となり、前年度末借入残高より8.5%の増となっています。また、下水道事業特別会計の市債借入額7億6,280万円で、平成24年度末借入残高は52億6,349万5,033円となり、前年度末借入残高3.5%の減となっています。一般会計、特別会計の市債残高を合わせると、224億4,537万2,598円です。市民一人あたりの借金は約38万円にもなります。

空き家対策 「逗子市空き家等の適正管理に関する条例」が制定

～建築物の敷地面積の最低限度の指定～ 慎重に進めよ！

近年、住宅地等において、適正に管理されずに放置され、老朽化・荒廃化した空き家等が増加し、倒壊事故や犯罪などの危険性など周辺住民の生活環境への悪影響が全国的な課題となってきました。本市においても空き家率が高くなっており、空き家対策として、他の自治体では、空き家等の適正な管理を求める条例が制定されています。また、空き家の有効活用などで空き家にしない施策もされています。高齢化が進む本市においては、空き家対策が必要だと考えます。これまで市は、担当する所管がないことから検討もしていないのが現状でした。私は第2回定例会の一般質問で、空き家・空き地対策について取り上げ、まずは担当所管を設け検討すべきと要望しました。第3回定例会で、議員提出議案で「逗子市空き家等の適正管理に関する条例」が提案されましたが、行政代執行を規定する修正案も出された結果、行政代執行を規定した条例が制定されました。私は、行政の安易な関与を避けるべきと考え、行政罰という強権的な手段は回避して、「公表」とどめ、行政代執行を規定しない原案に賛成しました。

逗子市は、緑豊かなゆとりあるまちの環境、美しい街並みを守るために、新たなまちづくりのルールとして住居系用途地域の「建築物の敷地面積の最低限度」を指定することをめざし、平成24年10月から市民への説明会等に取り組んできていますが、個人財産に制限を加えるものであり、市民が不利益を被るのではないかという疑問の声も多く、市民の十分な理解が得られた状況とは言えません。

逗子市は、現在人口は58,000人を切り、将来的に人口減少への傾向が続くことが予測されています。検討案は、市内全域を140㎡と110㎡以下の建築物の用途として分割を認めない指定を行うものであり、結果として本市のまちづくりに重大な影響を与えかねないものであります。第3回定例会で逗子市議会は、市長に対し、制度の指定にあたり、市民の理解と合意を前提として、敷地面積の最低限度の見直しとあわせて市全域ではなく、地区別の指定も含めた案も検討すべきであり、都市計画法の手続きについて、より慎重な対応を求める決議案が提出され、全会一致で採決されました。建築物の敷地面積の最低限度の制度導入については、議会の議決が無用のため、多くの市民意見が重要となります。

逗子市議会議員の定数が20名から18名に削減

第3回の定例会において、議員提出議案で逗子市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について、5党派8人の議員による共同提案で議員定数を20名から2減の18名にする議案が賛成多数で可決しました。ほかに、4減の16名にする提案は否決されました。私は、議員定数16名という考えは持っていますが、今回確実に削減（可決）できるとして、2名減に賛同したところです。来年3月に行われる逗子市議会選挙から施行されます。

皆様の声を聞かせて下さい。
市政に対するご意見、ご要望をお待ちしています。

御名前

御住所

連絡先